

TAKE
FREE

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.95
2023年 年末号

医療センターニュース



特集／インタビュー

中央放射線部の役割とはたらき

news

がん市民公開講座の開催について

看護部部長 知事表彰

院内防災訓練の実施



最適な医療に向けて、
最大の情報を作り出す技術者たち

中央放射線部とは

放射線を使用するレントゲン撮影やCT検査などを用いて、患者様の病気の検査や治療を行っています。検査で得られた画像や情報は医師によって病気や怪我の診断に用いられ、適切な治療へとつながります。この分野の医療技術の進歩はめざましく、医療機器は日々高精度化・高機能化しています。それらの性能を十分に発揮させるためにも、高度な知識や最新技術の習得に積極的に取り組んでいます。

3つの目指すもの

中央放射線部では患者様により良い医療を届けるために、3つの目標があります。

1. クオリティの向上

診療放射線技師とは技術屋だと考えています。診断がつきやすいように最適な画像撮影を行うための技術の習得だけでなく、患者様や他職種との接遇やコミュニケーションを含めた質の向上は日々欠かせない努力の一つです。

2. 専門性の追求

現代は、より良い医療を行うためには、ジェネラリストでは難しいと言われる時代です。医療技術の発展と一緒に進歩できるよう資格取得に注力しています。全スタッフで60ほどの資格を取得済みですが、さらに高みを目指すために個人だけでなく、チームでの学習にも取り組んでいます。

3. 学術面の取り組み

病院での業務だけでなく、論文の作成や、発表会の運営なども診療放射線技師としての成長には効果的です。外部で活躍するためのバックアップも行い、人材面の環境も整えています。



技師長
とね じゅんや
刀根 淳也

副技師長
やすもと こうじ
安本 浩二

副技師長
しみず しげのり
清水 重典

当院の中央放射線部の特色

心臓・腹部のエコー検査を診療放射線技師が行っているのですが、これは日本の病院ではあまり多くないケースです。診療放射線技師が行うことで、同部署内で行われたCTやMRIの検査結果との関連付けが容易となり、引いては患者様のメリットにもつながっていると思います。

働き手側としては、当院は病院側からの資格取得に向けた支援があるため、しっかりとしたフォロー体制の中で自己研鑽に励むことができます。この診療放射線技師という職業を選んだスタッフは、誰もが何かの志を持って当院へ入職してきてくれたと思います。

もしかしたらその志でやりたかったこととは違う仕事をする事になっているかもしれませんが、何かを極めることで大きな力になり、人生も豊かになると思いますので、ぜひ頑張ってください。

医療被ばくについて

2020年の法律改正により、患者様の医療被ばくの管理が必要となりました。

しかし当院はこの改正に先駆けて以前より管理を行い、安全・安心な検査や治療に努めてまいりました。放射線被ばく相談員も従事しており、疑問や不安がある患者様に対して十分な説明を行い、納得いただいた上で検査や治療を受けていただいています。被ばく低減にも取り組んでいますので、少しでも不安がある方は気軽にご相談ください。

今後の展望

レントゲン検査において、高性能で少しのX線でも十分な画像撮影ができるフラットパネルや骨密度測定機器が導入され、患者様にとってさらに有益な検査が実施できるようになりました。また、新たな治療棟の建設に伴い、機器が更新されるため、これまでより高精度の放射線治療に取り組んでまいります。当院ではこのような高額医療機器を地域の財産の一つであると考え、地域のクリニックとの病診連携も積極的に行っています。地域の皆様の健康のため、これからも尽力してまいります。



骨密度測定機器



多数の資格



フラットパネル



第一放射線室

CT

2台のCTが設置されており、外来・病棟の患者様の検査を行っています。CT検査とはX線を使用し、体内の状態を断面画像として写真にする検査で、頭部・肺・心臓・肝臓・膵臓・腎臓・腹部・血管・骨などの病気の診断に活用されています。また、救急で運ばれた患者様の緊急検査もかなり多いのですが、当院では量と質を担保しつつ全て受け入れています。また、X線による放射線被ばくを最小限に抑えながら、最大限有効な画像情報を得られるよう画像撮影に取り組んでいます。

第二放射線室

エコー

主に超音波（エコー）検査を行っています。高周波の超音波を用いて体内の状態を観察できる検査で、レントゲンやCT検査のように放射線は使用しないため、被ばくはありません。当院では心臓・腹部・乳腺のそれぞれに部署と担当を分けることで、専門的な知識や技術の向上につなげています。病棟の患者様には、ベットサイドまで伺い検査を行うこともあります。心臓エコー図検査は循環器内科からの依頼が多く、弁膜症心筋梗塞や心筋炎など心疾患の診断に活用されています。

それぞれが専門の検査を行っていただきます





4つの部門があり、中央放射線部には

第三放射線室 アンギオ

X線と造影剤を用いて血管の走行を撮影する血管造影検査を行っています。当院では1方向撮影の心臓専用機と2方向から同時撮影ができる頭部・腹部汎用機の2台の機器を設置しており、腹部撮影時には大きなフラットパネルを使用することで、広い範囲の撮影が可能です。入院している病棟患者様など急を要さない方への治療や検査だけでなく、くも膜下出血のような、脳内の出血がどこで起きているのかなどを解明したり、血管内治療などの救急の対応を行うこともあります。

第四放射線室 MRI

強い磁場と電磁波を用いて体内を断面画像として描出するMRI検査を行っています。大きな電子レンジのような構造で、放射線被ばくが無いことが特徴の一つです。CT検査では肺や骨の病気診断も行いますが、MRIではそれ以外の脳や腹部などの臓器、乳腺など全身に対して優れた検出能力を持っています。特に頭部の血管撮影は4~5分で完了するため、患者様への負担も少なくすみます。また造影剤などの薬を使わなくても、血管の画像撮影をすることもできます。交通事故などでの神経の様子や脳梗塞疑いの緊急検査にも多く対応しています。



Event

がん市民公開講座の開催について

●高精度放射線治療機器を用いた 当院の放射線治療について

講師：南平 結衣(放射線治療科医長)

●がんをどうみているの?画像診断について

講師：安本 浩二(中央放射線部 副技師長)

●胃カメラでできる胃がん治療について

講師：西浦 祐貴(消化器内科医長)

日にち 令和6年1月14日(日)

時間 13:30~14:40(13時開場)

場所 三重県立総合医療センター 7階講堂
オンライン(ZOOM)
※現地とオンラインの併用での開催となります。

会場定員 50名(入場無料・事前申し込み不要)

オンライン定員 50名(参加無料・申込先着順)

参加申込・問い合わせ webinar@mie-gmc.jp

News

看護部江川部長が知事表彰されました

令和5年11月22日に開催された「令和5年度三重県医療保健及び子ども・福祉関係 功労者 感謝のつどい」にて、三重県における医療・保健・福祉に貢献したとして、看護部江川部長が看護関係功労の知事表彰を受けました。



News

院内防災訓練を実施しました

令和5年10月8日、院内防災訓練を実施しました。DMATのサポートのもと、各部門が災害が発生した際のBCPに沿ったアクションを再確認しました。また、テントを建てる練習も行いました。



休診のお知らせ

令和5年12月1日現在

耳鼻いんこう科

- 12月28日(木)
- 1月26日(金)
- 2月9日(金)

三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和5年12月1日(金)現在

診療科	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
総合内科	初診	樂家	岡本	稲葉	小林/水谷	大泉
	初診・再診	感染症内科 白木	血液内科 和田	白木	消化器内科(再診) 白木	循環器内科(再診) 牧野
消化器内科	初診	森谷	井上	山中/水谷	西浦/小林	中澤/島田
	再診	井上	森谷	(午前) 小林	山中/菅	西浦
	再診	島田	水谷	腎臓内科 村田	中嶋	腫瘍内科 齋藤
循環器内科	初診	増田	加藤	増田	林	谷垣内
	再診	加藤	中澤	谷垣内	牧野	増田 (2・4週) 担当医
<small>※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※総合内科木曜日1診は、小林が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、小林が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科金曜日の3診は、中澤が第1週・第3週・第5週を担当し、島田が第2週・第4週を担当します。</small>						
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	増田	藤原	児玉*
	再診	後藤(初診)	三木(初診)	児玉	三木	
	再診	藤原		後藤	吉田	藤原
<small>※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)</small>						
消化器・一般外科	1診/横江	1診(午前)/担当医	1診/尾嶋	1診/毛利	1診(午前)/担当医	
	2診/尾嶋		2診/山本	2診(午前)/橋本		
	3診(午前)/毛利		3診(午前)/横江			
小児外科		2診/内田		2診/内田(14:00～)		
乳腺外科		3診/山下		3診(午前)/山下	2診/東	
	3診(午後)/乳腺外来(大西)	1診(午後)/大西		3診(午後)/乳腺外来(東)	3診(午前)/乳腺外来(山下)	
形成外科			2診(完全予約制)/相野			
<small>※第1週目は休診です。 ※相野が最終週以外を担当し、石浦が最終週を担当します。</small>						
心臓血管外科 / 呼吸器外科	1診/近藤	1診/新保	1診/澤田(1・3・5週)/田邊(2・4週)		1診/澤田	
	2診/庄村	2診/鈴木				
脳神経外科	1診/中井	1診/山本	1診/寺島	予約診/担当医	1診/梅田	
	2診/亀井	午前予約制/ 脳血管外来*(梅田)			2診/亀井 午後予約制/ 脊椎脊髄外来	
<small>※第2週・第4週 火曜日9時～11時(完全予約制)</small>						
脳神経内科	1診/伊藤	1診/伊藤	1診/掃部/伊藤	1診/堀江/稲葉	1診/掃部	
	2診/岡本	2診/掃部	2診/西垣	2診/稲葉/堀江	2診/伊藤	
<small>※水曜日の1診は、掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、堀江が第1週・第3週・第5週を担当し、稲葉が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、稲葉が第1週・第3週・第5週を担当し、堀江が第2週・第4週を担当します。</small>						
小児科	1診/杉山	1診/西森	予約/太田	1診/太田	1診/杉山	
	2診/西森	2診/太田	予約/杉山	2診/西森	2診/鈴木	
	3診/太田	3診/中里	予約/大森 山口	3診/中村	3診/林	
	予約診/山口	4診/荻野	時間外・紹介/西森		予約診/山口	
産婦人科	1診/大里(初診)	1診/手嶋(初診)	1診/古橋(初診)	1診/竹内(初診)	1診/河村(初診)	
	2診/古橋	2診/朝倉	2診/河村	2診(午前)/朝倉 2診(午後)/1ヶ月検診	2診/手嶋	
	3診(午前)/南		3診/竹内	3診/たんぼぼ (助産師) 外来	3診/朝倉	
	3診(午後)/母体胎児診断			4診/完全予約制 リンパ浮腫ケア外来		
整形外科	1診(午前)/ 北尾(紹介 膝、肩)	1診(午前)/ 北尾(膝関節外来(再診))		1診/奥山(再診)	1診/ 奥山(紹介、初診)	
		1診(午後)/北尾(再診)				
	2診(午前)/ 柿本(紹介、初診、膝)	2診(午前)/ 服部佳生(紹介、初診)		2診(午前)/ 服部徹也(紹介、初診、股)	2診/ 寺田(紹介、初診)	
		2診(午後)/柿本(再診)		2診(午後)服部徹也(再診)		
	3診(午前)/ 服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)/ 柿本(リハ、再診)		3診(午前)/ 服部佳生(リハ、再診)		
		3診(午後)/寺田(再診)		3診(午後)服部佳生(再診)		
<small>※金曜日の紹介予約は奥山が毎週担当します。 ※第1・第3・第5金曜日は奥山が担当し、第2・第4金曜日は寺田が担当します。</small>						
皮膚科	1診/渡邊	1診/加古 午後/褥瘡回診	1診/加古 午後/手術	1診/中西	1診/加古	
泌尿器科	1診/神田		1診/宮地	1診/松浦	1診/神田	
	予約診/松浦		予約診/神田		予約診/宮地	
	予約診/宮地		予約診/松浦		予約診/松浦	
眼科	1診/佐宗	1診/佐宗(午後休診)	1診/佐宗	1診/佐宗	1診/佐宗	
耳鼻いんこう科	1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村	
精神科	1診/山下	1診/山下	1診/山下	1診/山下	1診/山下	
放射線科	1診/南平	1診/南平/野本	1診/南平/高田	1診/南平/佐貫	1診/南平	

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321(代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足のでられるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和5年12月／発行号
〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132
TEL. (059)345-2321(代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>
表紙：中央放射線部 [令和5年10月31日(火)撮影]

ホームページ



交通のご案内



三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>